

高齡・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部 高齡・障害者業務課が行う「アビリンピック兵庫2024」について

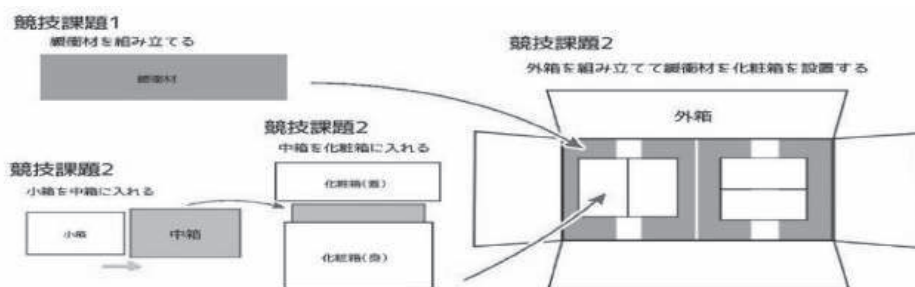
■アビリンピックとは、アビリティ（ABILITY=能力）とオリンピック（OLYMPIC）を合わせた造語です。障害のある方々の職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の方々に、障害のある方に対する理解と認識を深めていただき、障害者の雇用を促進しようと毎年開かれている障害者技能競技大会の愛称です。



■去る令和6年6月15日と22日の2日間、尼崎市にあるポリテクセンター兵庫において、アビリンピック兵庫2024（第45回兵庫県障害者技能競技大会）が開かれ、県内の特別支援学校や就労支援施設、特例子会社などに通う49人が出場し、8種目で学校や職場などで培った技能を競い合いました。



■製品パッキング競技は、まず、異なる2種類の段ボールでできている緩衝材をそれぞれ5個ずつ組み立て、紐で結束します。次に、小箱・中箱・化粧箱を組み立て、それらを一番大きな外箱に緩衝材を組み込んで化粧箱を固定します。3箱作ります。



選手の作業スピードに目が行きがちですが、速く作成するための改善、正確に折るための改善、向きや数量を間違えないための改善など、課題に合わせて選手1人1人それぞれが改善し、「製品を受け取るお客様の気持ち」を大事にして製品を作り上げている姿が見所でした。

■喫茶サービス競技では食堂内に設けられた模擬喫茶店で、選手は3人グループに分かれ、来店されたお客様へ、他の選手と連携・協力しながら、接客サービス技能を競いました。「喫茶サービス」のスキルを上げることが、単に喫茶店で働く可能性を広げるだけでなく、さまざまな業務を行うために必要な報告・連絡・相談や身だしなみなどの基本的労働習慣、対人スキルを身につけることにつながっています。この競技の参加を通じて、障害のある人がさまざまな職域で働く可能性が、さらに広がっていくことを願っています。



■ワードプロセッサ競技は、ワープロソフトのワードを使い、競技課題の和文と英文の文書とまったく同じものを作成します。ほんの少し図形のサイズや地図が異なるだけで全体のバランスが崩れて、ページに収まらなくなるため、図形の配置と加工等では慎重に作業を進めていました。

■表計算競技では、表計算ソフトのエクセルを使い、表やグラフの完成、データの抽出や並び替えなどの集計を行います。関数やセル参照、論理演算子・比較演算子の指定などエクセルの各種機能の習熟度を競いました。



